

# 医科学 見聞録

今月から、スポーツ医・科学サポート委員会所属の委員の方々から、毎号スポーツ医・科学についてのコラムを執筆していただきます。

第1回は、東委員長による、県内のサポート体制についてのお話です。



## 山口県におけるスポーツ医・科学サポート体制について スポーツ医・科学サポート委員会 委員長 東 良輝

山口県体育協会では、競技力の飛躍的な向上と県民の豊かなスポーツライフの実現を支援する目的で、平成15年、「山口県スポーツ医・科学サポート委員会」を立ち上げ、平成16年「やまぐちスポーツ医・科学サポートプログラム」が策定されました。その主な内容は①サポート推進体制の整備 ②医・科学サポートスタッフの養成、確保 ③相談支援体制の整備 ④スポーツ医科学におけるサポート支援施設の整備等です。

①に関しては委員会の中に専門部会(医学専門部会、科学専門部会、コンディショニング専門部会)を設置し、それぞれの部会でサポートチーム(ドクター、トレーナー、栄養士)の確保、要請を行い、③に関しては各競技団体へのサポートチームの派遣、相談窓口の設置、メディカルチェック、体力測定等の実施を、④に関しては光市に現存しているスポーツ交流村に「やまぐちスポーツ医・科学サポートセンター」が設置されました。センターの設置により、このセンターを拠点とする山口県内における医・科学サポート支援体制が確立しました。

その後は本センターが中心となり、ジュニアアスリートサポート事業、指導者・選手を対象としたトレーニング講習会、メンタルトレーニングサポート、スポーツ栄養サポート等、多岐にわたり事業を展開し、この事業が「おいでませ！山口国体」に於いて天皇杯、皇后杯ともに獲得した原動力となったといっても過言ではありません。当センターは山口国体が終了した後も、規模を縮小することなく、現在も引き続き存続しております。尚、当スタッフも山口県民の健全なるスポーツ活動の支援のために、今後とも充実した施設として運営されるよう、努力を重ねておりますので、スポーツ、健康等に関する相談はどんなことでも対応しますので、何時でもご相談されるようお願いいたします。